

FD・SD

プログラム番号 2803A

リーダーセミナーⅡ

われわれはどのような経営視点を持てばよいのか？

—大学のマネジメントを考える—

■講師



大坪 檀

(学校法人新静岡学園 理事長 静岡産業大学 総合研究所所長)

東京大学経済学部卒。カリフォルニア大学経営学大学院修士課程修了。同大学で MBA 取得後(株)ブリヂストンに入社。宣伝部長、米国ブリヂストン経営責任者を歴任。1987 年より静岡県立大学経営情報学部教授、学部長、学長補佐を務める。1998 年より静岡産業大学国際情報学部教授を経て 2000 年に同大学学長に就任。2012 年 4 月より学校法人新静岡学園理事長。著書『大学のマネジメント・その実践—大学の再生戦略』(2005)など多数。

■プログラム概要

「大学のマネジメント」についての議論が喧しくなって久しくなります。大学のガバナンスを強化するため、トップ・マネジメントの権限を拡大する方向性も明確になってきました。しかしながら、これまでの大学が、マネジメントやガバナンスといったことになじみの薄い組織であったことも事実です。講演では、これからの大学を支えていかれる皆さんに、静岡産業大学での事例をふまえながら、「マネジメントを意識するためにはどのような視点をもてばよいのか」「大学のガバナンスを強化するためには具体的にどのように考えればよいのか」についてお話しします。

- 1 マネジメントの基本 PDCA
目的、目標を達成するために方針・計画→組織→人事→チェック
PDCAの存在 実行化のリーダーシップの存在
- 2 この大学は何のため、だれのために存在するのか
理念とミッション明確化 トップの責任／実行 執行 計画の明示
- 3 大学のステークホルダー 存在の基盤
私学—授業料／国公立—税金
- 4 執行のプロセス 権限と責任
組織の在り方 ガバナンス／監査の役割
- 5 リーダーの役割
知識労働者のマネジメント／感激・感動・共鳴させる目標の設定／ハッピーな組織づくり
- 6 大学マネジメントはユートピア

■主な受講対象

組織のマネジメントに取り組んでいる／取り組もうとしている教職員
大学におけるマネジメント／ガバナンスについて深く学びたいと思っている教職員
マネジメントの必要性は理解しているが、大学でどのように取り組むべきか悩んでいる／迷っている教職員

■本プログラムの到達目標

1. 大学におけるマネジメントの基本を説明できる
2. 大学においてマネジメントが必要とされる背景が説明できる
3. マネジメントの視点からリーダーの役割を説明できる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木) 15:30~17:30
会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 125番教室
定 員 : 80名